数 学 科 学 習 指 導 案

令和元年９月 17 日（火）　第１校時　２年Ａ組教室
授業学級　２年Ａ組（40 名）
授 業 者
指導教諭

1　単元名　「　　一次関数の利用　　」（　啓林館・２年）

2　主　眼

用途によって最適なプランを選ぶ場面で、各プランにおける時間と代金のグラフを描き、読み取る活動を通して、グラフを描けばそれぞれのプランが比較しやすいことに気付き、用途によって最適なプランを根拠を明らかにして説明できる。

3　本時の位置（全４時間中　第１時）

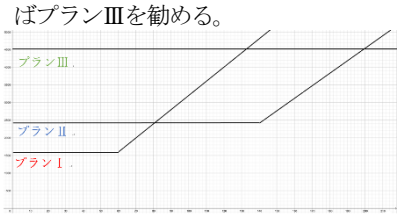
前時：　二直線の交点を求めた。

次時：一次関数を用いて、道のり、速さ、時間について考える。

4　本時の評価規準

用途によって最適なプランを根拠を明らかにして説明できる。

5　展　開

段階	学習活動	予想される生徒の反応	◇教師の指導・援助	時間	備考
課題把握	1　学習課題を確認し、問題に見通しをもつ。	【問題】あなたは bu ショップの店員です。そこに「一か月に 70 分通話したい」という A さんと、「一日に 6 分くらいは通話するかな」という B さんが来ました。 プランⅠ：　基本料金 1600 円　通話時間が 60 分を超えると 1 分 40 円 プランⅡ：　基本料金 2400 円　通話時間が 140 分を超えると 1 分 35 円 プランⅢ：　通話し放題　4500 円 あなたはどのプランを提案をしますか。		10 分	パワーポイント
		ア　プランがややこしい。 イ　1 分で 40 円というのは比例の関係だ。	◇アのような発言を受けて学習問題を据える。		
		学習問題：最適なプランはどのように選べばよいだろう。			
		ウ　それぞれのプランでいくらになるか計算すればよい。 エ　表やグラフで考える。	◇ウ、エのような発言を受けて学習課題を提示する。		ワークシート
		学習課題：計算、表、グラフを用いて最適なプランを選ぼう。			
／追究	2　個人追究	(a)　A さんは 1 ヶ月に 70 分通話したい。プランⅠだと 2000 円、プランⅡだと 140 分まで 2400 円だからプランⅠの方がよい。 (b)　グラフは以下のようになる。プランⅡとプランⅢの交点の x 座標は 200 分だから、1 ヶ月の通話時間が 200 分を過ぎるのであればプランⅢを勧める。  	◇計算だけで求めた生徒にはグラフを描いてみて読み取ってみるように促す。 ◇「一日に 6 分くらい」というのは 1 か月あたりに直すと振れ幅が大きい。あいまいな表現であることに着目するよう促す。	20 分	グラフ用紙
	3　全体追究	オ　グラフから、通話時間を決めればどのプランが最適か一目でわかる。	◇一次関数の式から交点の座標を求めることで、どの時間を境に最適なプランが変わるのかがわかることに着目して、まとめる。	15 分	パワーポイント
／一般化	4　まとめ	本時の評価規準に達していない生徒への手だて ①それぞれのプランを一次関数で表すように促す。		3 分	
	5 振り返り			2 分	

6　反　省